■徳富蘇峰(猪一郎)　　**言論人。{国民之友}{国民新聞}で一世を風靡，変節して戦時体制に協力，<敗戦>後文化勲章を返上。**
とくとみそほう
8月18日政変 1863＝　　肥後国水俣の郷士の第五子長男に生まれる。
欧化主義と伝統主義がともに強い風土のなか，母久子の姉竹崎順子が熊本女学校の創立者・妹が横井小楠の妻・その下の妹が女子学院院長で基督教婦人矯風会の設立者となるような開明的豪農一族で，母の膝下に唐詩を習い「大学」「論語」などを学びながら育つ。

明治維新・・1868＝ 5歳：後に作家となる弟蘆花が誕生。
三姉が久布白落実の母で，四姉は安中教会を創立し群馬県会議長から代議士となる湯浅治郎に嫁ぐ。
初の日刊新聞1870＝ 7歳：父が熊本藩庁出仕になったのに伴って，熊本に転居。
廃藩置県・・1871＝ 8歳：元田永孚の塾はじめいくつかの塾で漢学を学び，
学問のすすめ1872＝ 9歳：熊本洋学校に入学するも，年少のため退学させられ，
明治6年政変 1873＝10歳：

初の民間工場1875＝12歳：熊本洋学校に再入学，
三つの反乱・1876＝13歳：熊本バンドの血盟に参加後，洋学校が閉鎖となり，上京して東京英学校に入学したが，

同志社に移り，新島襄の薫陶をうけ，一度はキリスト教の洗礼をうけるが，

・・・・・・1880＝17歳：**_同志社を中退し帰郷。熊本では自由民権の結社相愛社に加盟し，政談演説や新聞編集に従事するが，**
明治14年政変1881＝18歳：
新体詩抄・・1882＝19歳：**_自宅に大江義塾を開き，自由主義を標榜した実学教育を行う一方，いくつかのパンフレットを自費出版して注目され，文筆活動に入る準備をする。**
秩父事件・・1884＝21歳：結婚。
この間，東京や高知に旅行し，板垣退助，中江兆民，田口卯吉らの知遇をえる。
帝国大学始・1886＝23歳：**_「将来之日本」を出版して一躍文名を高め，一家を挙げて上京。**
国民之友始・1887＝24歳：「新日本之青年」。***民友社を創立し{国民之友}を発刊する。平民的欧化主義を旗印としたこの雑誌は，政治・経済・社会から宗教・文芸にわたる多面的で新鮮な編集によって異常な人気を呼ぶ。**
帝国憲法発布1889＝26歳：
帝国議会始・1890＝27歳：**_余勢をかって{国民新聞}を創刊し，報道紙としての新聞という面で新機軸を打ち出す。**

大本教・・・1892＝29歳：**_さらに{国民叢書}を刊行し，{家庭雑誌}を創刊する。**
郡司千島探検1893＝30歳：「吉田松陰」を刊行。
日清戦争始・1894＝31歳：「大日本膨脹論」。**_日清戦争開戦前後から国家の対外的膨張を当然とする膨張主義の立場へと移りはじめ，**
日清戦争終・1895＝32歳：雑誌「英文極東」(The Far East)を創刊。**_三国干渉後は挙国一致と軍備増強を叫ぶようになる。**
白馬会・・・1896＝33歳：世界漫遊の途に上り，ロシアではトルストイを訪ね，
八幡製鉄始・1897＝34歳：帰国。**_松方内閣の内務省勅任参事官就任を機に"変節"の非難を招き，**
子規句歌革新1898＝35歳：***{国民之友}他全雑誌は廃刊に追い込まれた。**
Bushidou・・1899＝36歳：

日比谷公園・1903＝40歳：弟蘆花「黒潮」を出版，「蘇峰家兄に与ふる書」を掲載し，蘇峰と訣別する。

日露戦争終・1905＝42歳：
_その後も山県有朋，桂太郎に接近し機務にあずかったため，日露講和と大正政変の二度にわたって，国民新聞社は，暴徒による焼打ちにあうなど民衆の襲撃をこうむった。
韓国反日暴動1907＝45歳：
_寺内朝鮮総督の要請で京城に赴き，新聞政策について建策，{京城日報}監督の任につく。以来，関係を断つまで，年数回往復する。

明治天皇没・1912＝49歳：
大正政変・・1913＝50歳：「時務一家言」を刊行。**_桂太郎の政党創立に参画，護憲運動と対立し，国民新聞社は再び焼打ちをうける。**

その他の著述を通じて，デモクラシーと国際協調の風潮を批判しつづける。

民本主義・・1916＝54歳：「大正の青年と帝国の前途」。
本格政党内閣1918＝55歳：**_桂の死を機に{京城日報}をはじめ，政治の機務からは離れ，「近世日本国民史」の著作を始める。**

原敬首相暗殺1921＝58歳：
水平社結成・1922＝59歳：大森山王に転居，もとの宅地跡に，皇室中心の社会教化を目的とする**_青山会館を設立，**
関東大震災・1923＝60歳：関東大震災で新聞社は全焼。

円本時代始・1926＝63歳：京橋区加賀町に新社屋が完成し，移転。
金融恐慌・・1927＝64歳：病中の弟蘆花を伊香保に見舞う。蘆花は同夜死去。

世界恐慌・・1929＝66歳：**_国民新聞社から退去せざるをえなくなったが，**

満州事変・・1931＝68歳：
_このころからファッショ化の波にのって声望が高まり，

芥川直木賞始1935＝72歳：

日中戦争始・1937＝74歳：

第二次大戦始1939＝76歳：「昭和国民読本」。

日米開戦・・1941＝78歳：***日米開戦前後には最高潮に達して，宣戦の詔勅の起草にあずかっただけでなく，**
・・・・・・1942＝79歳：**_大日本言論報国会，大日本文学報国会の会長を兼ね，**
創価学会検挙1943＝80歳：**_文化勲章を受けた。**
年金+総武装 1944＝81歳：
敗戦・・・・1945＝82歳：***敗戦後は戦犯容疑者に指定され公職追放となり，隠居。**
新憲法公布・1946＝83歳：**_文化勲章を返上。**
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝89歳：**_追放を解除された年，「近世日本国民史」第100冊を脱稿して完結し，**
なべ底不況・1957＝94歳：**_没した。**
中公シリーズ「日本の名著」，刀水書房「20世紀の歴史家たち1」，日本人物誌叢書「新聞界人物評伝」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，